

令和7年度進行管理・評価シート

亀山市歴史的風致維持向上計画（令和3年5月19日認定）

□進捗評価シート(様式1)

① 組織体制(様式1-1)		
1 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置	1
② 重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 亀山市景観計画による良好な景観の推進	2
③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 東海道街道沿街なみ環境整備事業	3
2 歴史的環境整備事業(道路整備)	4
3 歴史的環境整備事業(小公園の整備・改修)	5
4 歴史的環境整備事業(ポケットパーク整備)	6
5 歴史的環境整備事業(駐車場整備)	7
6 重点区域案内看板整備事業	8
7 歴史的施設保存修繕事業	9
8 歴史的建造物修繕事業	10
9 歴史まちづくり活動支援事業	11
10 歴史的建造物等活用事業	12
11 伝統芸能保存事業	13
④ 文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 保護事業の推進	14
2 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針	15
3 埋蔵文化財の取扱いに関する方針	16
⑤ 効果・影響等に関する報道(様式1-5)	17
⑥ その他(効果等)(様式1-6)		
歴史まちづくりの効果	18

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	19
-------------------------	-------	----

評価項目①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度
----	--------	-------

「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置

- 現在の状況
- 実施済
 - 実施中
 - 未着手

計画に記載している内容 全市をあげて歴史的風致の維持向上を図っていくために、「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、事業担当部署間の横断的調整及び庁内合意形成を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で

重点区域内で実施される事業については、事業調整担当G(文化課まちなみ文化財G・都市整備課都市計画G)と事業実施Gとの間で、事業内容等について調整を進めるとともに、事業調整担当Gで進行管理を行った。進行管理・評価については、事業調整担当Gと事業実施Gとの間で実施状況を共有・協議した後、亀山市歴史的風致維持向上計画協議会において報告及び意見聴取を行った。
また、歴史的風致維持向上計画の事業手法にかかる社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)について、事業調整担当Gと事業実施Gとの間で、検討・協議を行ったうえで、令和8年度から令和12年度までの整備計画を策定した。

進捗状況 ※ 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

引き続き、事業調整担当G間で密に連絡を取り合うとともに、事業実施Gとの事業調整及び進行管理を行い、歴史的風致の維持向上を図る。

状況を示す写真や資料等

■ 歴史まちづくりへの取組体制

令和3年度(第1期)
産業建設部
都市整備課 都市計画G
土木課 施設整備G
生活文化部
文化スポーツ課 まちなみ文化財G
文化スポーツ課 歴史博物館
地域観光課 観光交流G
まちづくり協働課 地域まちづくりG
教育委員会
生涯学習課 社会教育G
総合政策部
政策課 政策調整G



令和7年度(第2期)
[事務局]
市民文化部
文化課 まちなみ文化財G
建設部
都市整備課 都市計画G
[事業実施部署]
建設部
建設管理課 道路保全G
土木課 道路整備G
都市整備課 市街地整備G
産業環境部
商工観光課 観光・地域ブランドG
市民文化部
文化課 まちなみ文化財G
教育委員会
生涯学習課 社会教育G

■ 亀山市歴史まちづくり事業調整会議

<開催日及び概要>

- ・令和7年4月14日・5月19・21・26日
令和6年度進行管理・評価シートについて
令和7年度事業の進捗管理について
令和8-12年度整備計画について
- ・令和7年7月24日・8月22日
令和8-12年度の整備計画について
- ・令和8年1月7日・3月6日
計画の中間評価について
令和7年度進行管理・評価シートについて
(計8回開催)

■ 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会

<開催日及び概要>

- ・令和7年5月28日
令和6年度進行管理・評価シートについて
- ・令和8年5月21日
令和7年度進行管理・評価シートについて
歴史的風致維持向上計画 中間評価シートについて

評価軸①-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
		<input type="checkbox"/> 未着手

亀山市景観計画による良好な景観の推進

計画に記載している内容
 亀山市景観計画により市域全域を景観計画区域として位置付け、建築物及び工作物や開発行為等について形態意匠などの景観誘導を実施している。また、景観計画区域内でも、より景観形成を推進する地区として景観重点地区、景観形成推進地区を指定し、建築物及び工作物等の高さや形態意匠についてより積極的な規制を行っている。今後も景観形成推進地区、眺望景観重点地区等の指定を推進し、景観形成基準による景観誘導を図るとともに、景観重要建造物、景観重要公共施設の指定など、良好な景観の保全・創出を行うこととしている。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

重点区域内の2地区(亀山城下町・関宿周辺)は、亀山市景観計画に基づく景観形成推進地区に指定されており、積極的な景観誘導を図っている。平成23年より、計画に基づく届出事務を開始し、景観形成推進地区内では、平成23年度～令和6年度までで140件、令和7年度については、46件の景観届出を審査し、申請者と意匠形態・色彩について詳細に協議を実施した。

進捗状況 * 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

良好な景観形成に必要な歴史的建造物の減少が進んでいるため、歴史的まちなみを生かした魅力的なまちづくりを進める上では、景観まちづくりに関する一層の周知啓発に取り組むとともに、個々の建造物を景観重要建造物に指定すること等による景観保全の取り組みを進める必要がある。

状況を示す写真や資料等

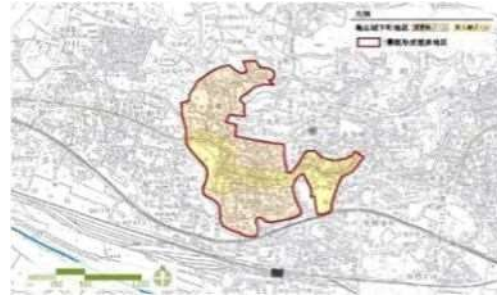
■景観形成推進地区位置図



重点区域内の景観形成推進地区詳細



関宿周辺景観形成推進地区(拡大図)



亀山城下町景観形成推進地区(拡大図)

評価軸①-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 令和7年度

項目	現在の状況
東海道街道沿街なみ環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道沿いにおいて、脱色アスファルト舗装や表面処理(プラスト加工)、薄層舗装などの美装化を行うことで、住環境の改善を図り、良好な街なみ形成を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で

市内東海道総延長約19kmの内、令和7年度については関宿地区約0.1kmの美装化を実施した。美装化については、令和4、5、6年度と同様に、骨材である自然石の風合いを生かした自然な表情に仕上げた。

進捗状況 ※ 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

人家が連坦している生活道路での施工となるため、工程調整、迂回路調整、仮駐車場の確保が課題である。
 地域説明会等により地域住民の協力を得て、計画に沿った事業進捗を図る予定としている。

状況を示す写真や資料等

■ 関宿施工箇所平面図



■ 状況

R7事業区間: 地蔵院西ノ口線ほか(約0.1km)



■ 工事着工前【撮影: 令和7年8月】



■ 工事完成【撮影: 令和7年11月】

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
歴史的環境整備事業(道路整備)	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 関宿内の東海道と並行する生活道路を改良、新設し、関宿での住環境の維持向上、来訪者の利便性向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で

計画道路沿線の地権者に対して改めて事業について説明したうえで、現在の意向を確認したが、合意形成には至らなかった。

進捗状況 ※ 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画道路沿線における地権者との合意形成は必要不可欠であることから、道路を拡幅することによる整備効果を地権者に理解していただけるよう進めていく。

状況を示す写真や資料等

■ 位置図



起点側



終点側



評価項目②-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況

歴史的環境整備事業(小公園の整備・改修)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道沿道の良好な街なみの形成や来訪者の回遊性向上を図るため、小公園(亀山公園及び東町ふれあい広場)の改修を行うとともに、関宿のおよそ中心に位置する小公園(百六里庭(拠点施設))の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、整備後の公園が地域におけるにぎわいや交流の拠点となるよう、活用方法の方向性について地元関係者との協議を行い、地域の意向を確認した。これらの協議結果を踏まえ、歴史的景観に調和した空間づくりに向けた詳細検討を令和8年度に実施するための準備を進めた。

進捗状況 ※ 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和8年度は、令和7年度に地元関係者との協議により確認した整備の方向性を踏まえ、整備内容を具体化するための詳細検討を実施する。また、令和9年度の工事発注に向けて、単価更生業務を行うことを予定しており、適正な工事費の確保と効率的な事業進行を図る方針である。関宿の小公園(百六里庭)については、整備方針を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

規模:多目的トイレ

男子トイレ

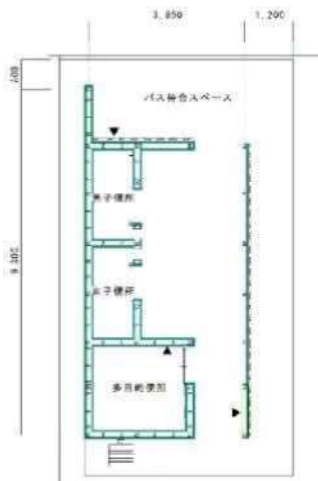
女子トイレ

バス待合スペース

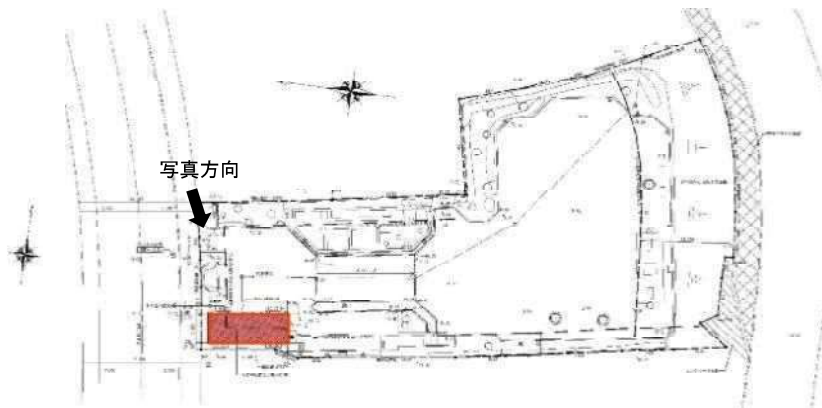
配置計画:周辺の街並みや景観に寄与するため、近隣住民との視線に配慮し、出入口や窓の最適な配置計画とした。



■ 完成予想パース図



■ トイレ配置図



■ 東町ふれあい広場平面図

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 令和7年度

項目	現在の状況
歴史的環境整備事業(ポケットパーク整備)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的施設の集まる「亀山城跡・亀山宿」周辺地区において、沿道環境の向上と、散策者の利便性向上のため、ポケットパークを整備する。また、旧亀山城多門櫓等の眺望ポイントとして、池の側ポケットパークを整備し、亀山宿の西端にある京口門跡において、散策者、施設見学者の休憩施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

池の側ポケットパークを整備したことで、散策者の利便性向上に寄与している。

進捗状況 * 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	散策者や施設見学者が安らげる憩いの場として利用していただけるように維持管理に努めていく必要がある。また、京口門跡の整備について、詳細な整備方法が決定していないため、整備方針について検討する必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

■池の側ポケットパーク平面図



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

歴史的環境整備事業(駐車場整備)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業:効果促進事業)

計画に記載している内容 歴史的まちなみの住環境内で発生している交通渋滞等を解消し、良好な街なみ形成と住環境の改善を図るため、主要なアクセス道路となっている国道1号に面するJR関駅前駐車場の一部に大型車等の駐車場を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

コロナ禍を契機として、観光客の動向が団体旅行から個人旅行へとシフトしており、近年の旅行需要の変化に対応するため、令和6年度に事業計画を見直したことから、駐車場整備の設計委託等は実施しなかった。

進捗状況 * 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

良好な街なみ形成と住環境の改善を図るため、令和6年度に若草住宅跡地を駐車場として整備した。今後、交通渋滞等を解消し、住環境の改善を図れるか経過観察し、事業進捗に向け検討する。

状況を示す写真や資料等

■状況



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

重点区域案内看板整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、施設案内看板(文化財説明看板)の設置を行う。また、東海道の交差点等に歴史的風致形成建造物等への誘導サインを設置する。施設案内看板の設置の際にはQRコードなどを使い、見ている風景に情報(文字や映像)を効果的に付加し、多言語化対応とするなどICTを活用した情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成20年度の第1期計画策定時点から毎年施設案内看板の設置を行っており、昨年度までに45ヶ所に設置している。令和7年度には、施設案内看板の修理を3ヶ所を実施した。なお、二次元コードにより、亀山市史との連携や英語翻訳を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

安全に散策できる環境や拠点への適切な誘導等、来訪者への環境整備が不足しているため、誘導サインを設置することで、利便性を高め、拠点への適切な誘導を促進するとともに、歴史的建造物及び拠点施設の活用を推進していく。また、経年劣化している看板については、随時修理を行う。

状況を示す写真や資料等



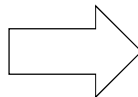
■ 宗英寺のイチョウ



■ 宗英寺のイチョウ



■ 鈴鹿関跡
【撮影: 令和7年12月】



■ 鈴鹿関跡
【撮影: 令和8年3月】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

歴史的施設保存修繕事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

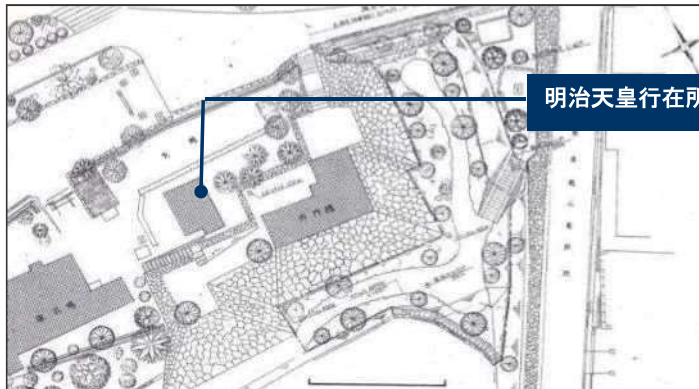
計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定予定の「明治天皇行在所」については、数度の移築と老朽化により劣化しているため、保存修理工事を行い、活用を行う。また、国の登録有形文化財であり、歴史的風致形成建造物である「鈴鹿峠自然の家」についても老朽化により劣化しているため、保存修理工事を行い、更なる活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

期間内に調整のうえ事業計画を見直すこととなったため、令和7年度に明治天皇行在所及び鈴鹿峠自然の家について、設計委託等の事業進捗はなかった。なお、明治天皇行在所については、軽微な修理工事を行い、建造物の保存を図った。

進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない 	歴史的風致形成建造物の修繕時期について、関連部署と事業調整を行った結果、令和8年度以降に再調整を行い、実施設計等に向け検討を行うこととなった。

状況を示す写真や資料等



明治天皇行在所



【撮影:平成22年10月】



石垣工事に伴い明治天皇行在所を移設(平成22年度)し、見学者用広場が創出された。

評価軸⑦-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

歴史的建造物修繕事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 民間所有の歴史的風致形成建造物に指定した建造物及び景観上重要な建造物について、その修理に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は歴史的風致形成建造物の民間所有者から修理等の相談及び依頼がなかったことから、事業の実績なし。(参考実績)

片山神社周辺の建築物等の復原修理に補助金交付(平成26年度)

福泉寺山門の復原修理に補助金交付(平成27～29年度)

進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない 	民間所有の建築物に対する補助事業であり、現在修理等の要望はないが、制度内容の周知と、積極的な活用について、啓発していく。
状況を示す写真や資料等	

■市史跡「片山神社」境内の復原整備工事



■ 工事着工前【撮影:平成26年12月】



■ 工事完了【撮影:平成27年3月】

■市指定文化財「福泉寺山門」修理工事



■ 工事着工前【撮影:平成29年7月】



■ 工事完成【撮影:平成30年3月】

評価軸⑧-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

歴史まちづくり活動支援事業

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 東海道関宿街道まつりは、昭和61年(1986)に旧関町若手職員の企画によるイベントとして始められ、地域おこしの芽生えとなった。現在では、地域関係者で組織する実行委員会により企画運営を行っており、市は普及・啓発や施設の活用などの東海道関宿街道まつりの支援を継続して行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

令和7年11月2日に東海道関宿街道まつりを開催し、亀山に縁のある歴史上の人物の宿場大行列や「関の山車」巡行等を行い、お囃子等の保存伝承活動を行った。

街道まつりへの参加来場者数:9,000人(令和6年度 8,000人)

進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度以降も引き続き普及・啓発や施設の活用などの支援を行っていく。

状況を示す写真や資料等

東海道関宿街道まつり



■「関の山車」巡行【撮影:令和7年11月】



■ 大名行列再現【撮影:令和7年11月】

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物等活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定文化財建造物)において、小学校高学年を対象とした宿泊体験学習会を支援する。また、旧亀山城多門櫓(県指定史跡)を背景とした薪能を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
関宿旅籠玉屋歴史資料館において、市民らが運営する子ども会育成者連絡協議会主催で「玉屋宿泊体験」を実施し、関宿のまちなみについて学習するとともに、昔の人々の暮らしを理解することで、参加した子どもたちの文化財保護意識の向上に資することができた。			
進捗状況 * 計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		「玉屋宿泊体験」については、引き続き、令和8年度開催に向け関係部署と連携を行う。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■ 玉屋宿泊体験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">歴史学習【かまど体験、朗読会】</p>			

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統芸能保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成4年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	毎年恒例で実施される伝統行事である亀山市納涼大会において、亀山音頭や亀山小唄に併せてローソクを灯したぼんぼりを手に取り踊る「灯おどり」や亀山の城下町で武士や商人が織りなした人間模様を曲に現した「葛葉太鼓」等の伝統文化の発表を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
令和7年8月10日に亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)を開催し、「灯おどり」や「葛葉太鼓」等の伝統芸能の保存継承を図る予定であったが、悪天候のため中止となった。中止となったものの、灯おどり保存会による灯おどり練習会などが実施され、伝統芸能の保存継承は図られた。			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度の開催に向け、関係機関等と連絡を密に取り合い、実施に向け検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■ 亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)</p> <p>納涼会については、悪天候による中止のため、写真なし</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>■ 灯おどり練習会【撮影：令和7年7月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>			

評価軸①-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史文化資産を適切に管理し、また積極的に保存・活用を図るためには、必要に応じて保護事業を進める必要がある(維持・管理、修理・修復、公有化等)。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり事業と連携して、文化財を適切に保存・活用するため次の事業を実施した。
 ・文化財の修理等に対する支援:市指定有形民俗文化財「山車」(中町四番町)の用具の新調修理に対する補助金交付。
 ・文化財の防災に対する支援:国指定重要文化財「木造阿弥陀如来立像」(慈恩寺)に設置する自火報設備等の点検に対する補助金交付。
 ・令和7年度の「文化財防火デー消防訓練」については、関宿内にある関神社を中心に実施。
 ・市内に活動の拠点を置く無形文化財又は無形民俗文化財の保持者又は保持団体に対して謝礼金交付。
 ・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各部署に事業照会し文化財保護協議を実施。

進捗状況 * 計画年次との対応

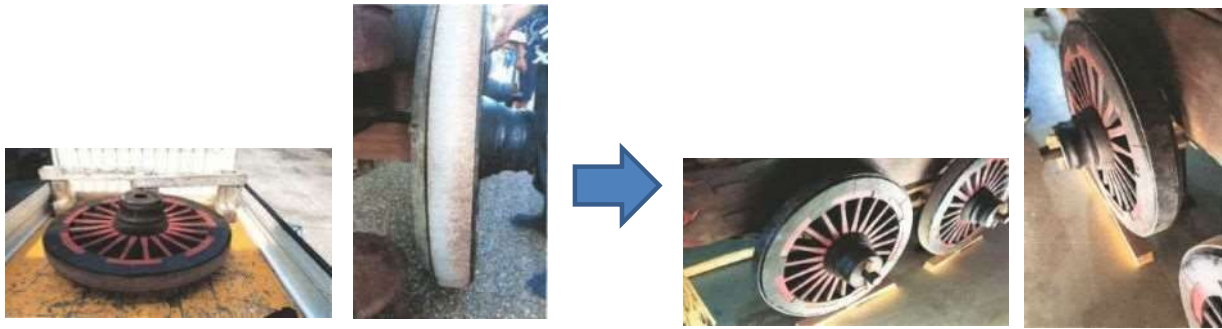
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

引き続き、所有者・管理者等が実施する修理・修復について、適切な手続きや技術の指導を行う。また、多額の費用を要するものについては財政的な支援をあわせて行う。

状況を示す写真や資料等

■文化財の修理等に対する支援



■「山車車輪」の修理
 左 修理前 右 修理後【撮影: 令和7年7月】

■文化財防火デー消防訓練



■文化財防火デー(関宿内「関神社」)
 【撮影: 令和8年1月24日】

評価軸②-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	有形・無形の文化財を、歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、相互に関連性のある一定のまとまり(「関連文化財群」としてとらえ、これらをつなぐ物語を創造する。これにより、より多くの人々が文化財の価値に気づき、資産として活用しやすくする。 定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で		
文化財の価値を再認識するため、文化財を活用した普及啓発活動を行った。 ・歴史博物館による市内小中学校への出前講座及び移動展示:計9回 ・市内小中学校等の歴史博物館内での来館授業:計16回			
進捗状況 * 計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の保存と活用を進めることで市民が文化財に触れる機会を充実していくことが課題であり、今後も市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう施策の展開を図っていく。 状況を示す写真や資料等		

■歴史博物館による市内小中学校への出前講座及び移動展示



亀山市立井田川小学校
3年生 出前授業
【撮影: 令和7年9月8日】



亀山市立神辺小学校
150周年記念展示
【撮影: 令和7年11月2日】

評価軸③-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
埋蔵文化財の取扱に関する方針		<input type="checkbox"/> 実施済
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
		<input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は現在(令和6年(2024)3月時点)のところ、旧亀山市域で359遺跡、旧関町域で100遺跡となった。これらについては本市のホームページに公開し周知していく予定。また今後は、鈴鹿関跡範囲確認調査を継続するとともに、保存管理計画の策定や計画に基づいた整備を実施していく。文化財の保存・活用に当たっては当該文化財が所在する地点の埋蔵文化財の状況を把握した上で、その保護に充分留意するものとする。このことは、当該文化財の周辺に所在する、時代や性格等の上で一連の遺跡についても同様とする。

開発行為に当たっては、周知の埋蔵文化財包蔵地については試掘調査を実施した上で、必要に応じて発掘調査を実施する。また、周知の埋蔵文化財包蔵地以外についても、開発担当部局及び事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘調査を行うなど、開発行為と文化財保護との調整に努める。協議にあたっては、三重県教育委員会との連絡調整を図るとともに、必要な指導を受ける。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施している。平成26年度までの調査成果をまとめた調査報告書を平成27年度に作成・刊行した。平成30年度・令和元年度は発掘調査を行い築地塀の痕跡と考えられる瓦溜まりを確認した。これらの成果を基に令和元年12月に文化庁へ国の史跡指定のための意見具申を行い、令和2年11月に答申、令和3年3月26日に国史跡指定の告示を得た。この史跡指定範囲は、鈴鹿関跡の極一部であるため、引き続き、鈴鹿関跡の全容解明及び学術的価値を明らかにするために、発掘調査や現況地形測量調査等を行う。これらの調査の成果をもって、国の史跡の追加指定を目指す。

令和7年度については、令和6年度に作成した新所城跡の赤色立体地図をより広域的な視点で利活用するとともに、鈴鹿関跡の全容解明のため、関宿全域での赤色立体地図を作成した。加えて、赤色立体地図を含め、これまでの調査成果を踏まえ、地域講座の開催や考古学研究会にて調査成果の発表を行うなど、鈴鹿関跡の普及啓発活動に努めた。

・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各課に事業照会し文化財保護協議を実施した。

進捗状況 * 計画年次との対応

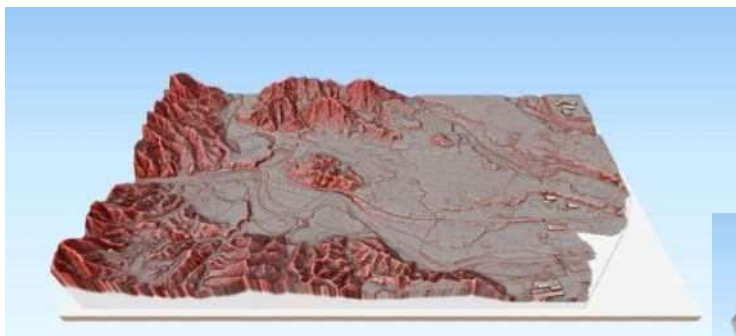
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

鈴鹿関跡については、全体像が明らかにされておらず、また、管理や活用の方針が十分に検討できていない。その他の遺産についても未調査の部分が多く見られるという課題がある。一方で、令和6年度からは継続して、鈴鹿関跡の学術調査を実施しており、一定の成果は得られた。今後は、継続して学術調査を実施し、国の史跡の追加指定や保存管理計画の策定、計画に基づいた整備を実施する。また、その他の遺産についても調査を実施し、市域の歴史や文化の解明を進める。

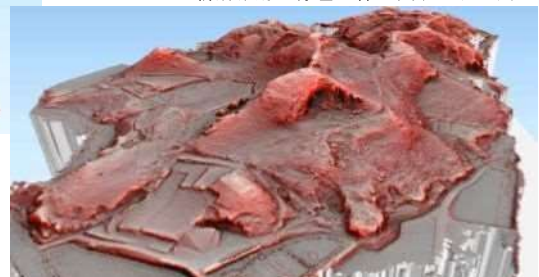
状況を示す写真や資料等

埋蔵文化財の保護



関宿全域の赤色立体地図(3Dデータ)

新所城跡の赤色立体地図(3Dデータ)



評価軸①-1

効果・影響等に関する報道

評価対象年度

令和7年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
亀山城多門櫓と桜 青白く 世界自閉症啓発デー	令和7年4月4日	中日新聞
シニアカーで関宿巡りを 亀山市観光協 実証実験	令和7年4月24日	中日新聞
三重県の祭り万博でPR 上野天神祭など披露	令和7年4月26日	読売新聞
観光客ら武将気分楽しむ 関宿で「甲冑着用体験」	令和7年5月6日	伊勢新聞
「鈴鹿関跡」赤色立体図に 亀山市 レーザー計測し作成	令和7年5月17日	伊勢新聞
地蔵院伝来の歴史資料展示 亀山の国重文、本堂公開も	令和7年6月15日	伊勢新聞
JR駅舎で陶芸展 加太小創立150周年を記念	令和7年6月18日	伊勢新聞
レーザーで浮かび上がる「鈴鹿関」 亀山市が立体図 土塁状の遺構可視化	令和7年6月21日	中日新聞
丹精込めた盆栽披露 亀山の地蔵院で展示会 若い人も興味持って	令和7年6月21日	伊勢新聞
山車巡行に多くの見物客 亀山市で「関宿祇園夏まつり」	令和7年7月21日	伊勢新聞
関宿祇園夏まつりにぎわいをもう一度 写真サークル「どんぐり」作品展	令和7年8月5日	伊勢新聞
関宿納涼花火に助成金 明治安田、ボランティアも	令和7年8月6日	伊勢新聞
「池山かんこ踊り」勇壮に 雨乞いと初盆供養	令和7年8月16日	伊勢新聞
万博で地域の魅力発信を 製作体験や茶振る舞い	令和7年8月19日	中日新聞
キャンドル120個 町民楽しむ 関地蔵院でイベント 夢描いた園児の絵も	令和7年8月30日	伊勢新聞
泳ぐアジつかみ取り 道の駅「関宿」でふれあい感謝祭	令和7年9月8日	伊勢新聞
万博で三重の祭り披露 県内観光や食のブース出展	令和7年9月24日	伊勢新聞
シニアカーで「関宿」巡って レンタル利用者に「楽得手形」	令和7年10月8日	伊勢新聞
歌麿の「画本虫撰」を解説 虫と植物を描いた浮世絵 西田さん、亀山で作品展	令和7年10月12日	伊勢新聞
家内安全や五穀豊穡願う 亀山忍山神社「傘鉾巡行」	令和7年10月13日	伊勢新聞
150人の手作り作品展 亀山市関宿まちづくり協 「おもちゃの病院」も	令和7年10月18日	伊勢新聞
関宿散策の「足」本格導入 電動車いす 実証実験で好評	令和7年10月22日	中日新聞
来月2日、関宿街道まつり 一休さんの「子ども行列」も	令和7年10月24日	伊勢新聞
地域住民ら「亥の子」作り 8日に儀式、収穫に感謝	令和7年11月2日	伊勢新聞
関宿彩る時代行列 亀山・街道まつりに9000人 ヤマトタケルや高校生に山車も	令和7年11月3日	伊勢新聞
地面たたき五穀豊穡感謝 「亥の子」で子どもの歌響く	令和7年11月11日	伊勢新聞
はなあかり 初の県内入り JR関西線に観光列車 集客増へ実証運行	令和7年11月14日	読売新聞
はなあかり 期待も乗せ 観光需要創出へ実証運行	令和7年11月18日	中日新聞
ヤマトタケル、バレエで舞う 忍山神社、西洋芸術と融合	令和7年11月30日	伊勢新聞
旧東海道の風致維持に 亀山野村地区の住民15人 市に17万円寄付	令和7年12月25日	伊勢新聞
「関宿かるた」熱戦 関地蔵院で歴史にふれる	令和8年1月18日	伊勢新聞
つきたて餅「おいしい」 道の駅「関宿」で子どもら	令和8年1月18日	伊勢新聞
火災から文化財守れ 亀山で消防訓練 住民と連携 神社に放水	令和8年1月25日	中日新聞
文化財「関宿」を守れ 亀山市と消防本部 関神社で消防訓練	令和8年1月26日	伊勢新聞
スイッチ！「DAI★さんぽ」 関宿を散策	令和7年5月14日～	東海テレビ
ニッポン美景めぐり「三重県・桑名～関宿」	令和7年5月18日	BS FUJI
コミュニティチャンネル「石田靖とぶらりて笑」 関宿をぶらり！	令和7年6月1日～	ZTV
コミュニティチャンネル「Hikarugram」 リニューアルされた加太駅舎！	令和7年10月24日	ZTV
三重においーさ 伊勢参宮街道おかげ旅	令和8年2月16日～	ZTV
三重2泊3日で14スポット巡る全力モデルコース！	令和8年2月28日～	YouTube
東海道五十三次④亀山宿から関宿（江戸の風景が色濃く残る宿場）	令和8年2月28日～	YouTube
東海道宿場町・関宿で散策してきた！	令和7年5月1日～	YouTube
江戸の面影残る「関宿」で味わう”夏ごはん”かまど体験で全身汗だく！	令和7年7月14日～	YouTube
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
街道や宿場町をテーマに、市民団体によるものを含めイベント等を開催し、広く市民等に対して情報発信を行うことが出来た。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	引き続き報道等を通じて、本市の歴史的風致の魅力等についての情報発信を行っていく。	
状況を示す写真や資料等		

評価項目①-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史まちづくりの効果

定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・関宿周辺歴史的公開施設来場者数及び亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移
 関宿周辺については、伝統的建造物群保存地区の整備を継続的に実施することにより、亀山城周辺は亀山城多門櫓を軸とし、亀山城周辺の施設等の面的な整備を行ったことにより、公開施設の回遊性が向上し、来場者数の増加に繋がった。関宿及び亀山城周辺ともに、令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響により、来場者数が減少したが、令和4年度及び令和5年度、令和6年度、令和7年度と右肩上がりの来場者数となった。
 ・住民意識の向上(アンケート結果による)
 令和7年3月に実施した第3次亀山市総合計画策定に向けた市民アンケートでは、将来のために良い環境や文化を残したいかとの問いに対して、残したいと回答した人の割合が77.4%と多くの人が将来のために良い環境や文化を残したいと感じていることがわかる結果となった。

進捗状況 ※ 計画年次との対応

実施にあたっての課題(自由記述)

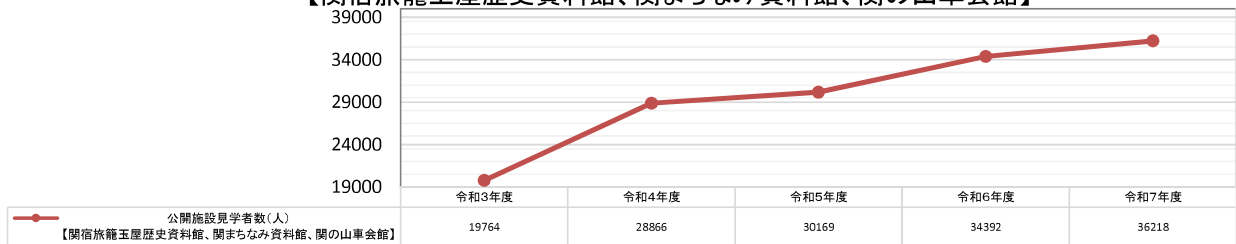
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

市民アンケートから多くの方が将来のために文化を継承したいと感じていることがわかる結果が出ており、引き続き、文化の継承に向けてシビックプライドの醸成に努めていく必要がある。

■ 関宿及び亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移

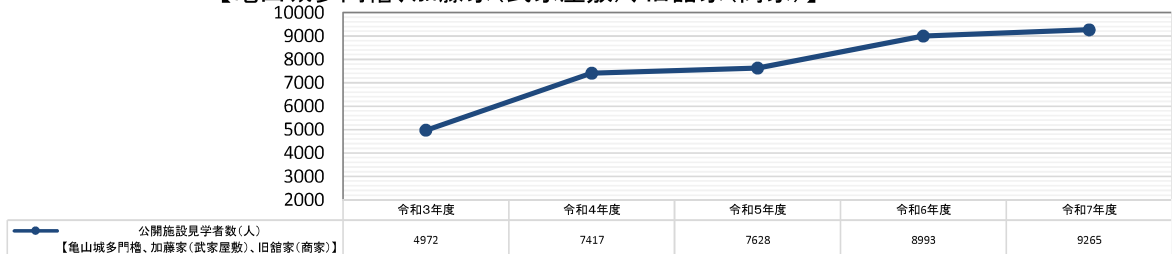
関宿周辺来場者数推移

【関宿旅籠玉屋歴史資料館、関まちなみ資料館、関の山車会館】



亀山宿来場者数推移

【亀山城多門櫓、加藤家(武家屋敷)、旧館家(商家)】



■ 住民意識の向上

第3次亀山市総合計画策定に向けた市民アンケート(18歳以上の市民1,200名)(令和7年3月)

図表5-5 将来のために良い環境や文化を残したいか



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	令和7年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和8年5月21日	
<ul style="list-style-type: none">・文化財専門職員の適正配置を行い、鈴鹿関跡や重要伝統的建造物群保存地区である関宿などの文化財の事業推進をより一層図られたい。・様々な事業を実施し、施設整備等を推進してきていることから、一層の利活用につながるよう、周知啓発や整備内容の見直しに取り組まれたい。・事業の進捗が十分でない事業については、事業進捗が図られるよう検討されたい。	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none">・組織体制について検討し、鈴鹿関跡や重要伝統的建造物群保存地区である関宿などの文化財の保存活用に向け、より一層の事業推進を図ります。・整備を行った施設等の利活用を図るため、施設の特長に応じた利活用方法について検討を行うとともに、より一層の普及啓発や整備内容の見直しに取り組みます。・事業の進捗が十分でない事業について、事業進捗が図られるよう対応方針の検討を行います。	